

さいたま市長 1 月定例記者会見より

平成 19 年 1 月 18 日(木曜日)

午後 1 時 30 分開会

進行 記者クラブの皆さん、こんにちは。ただいまから定例記者会見を始めさせていただきます。

・
略
・
・

日本経済新聞

埼玉高速鉄道の新しい社長がですね、きのう就任されましたけれども、周辺自治体から、さいたま市も含めた、そういう補助金をなしにですね、償却前損益を黒字化したいというような抱負を述べられておられましたが、ちょっと改めて新社長への期待というかですね、それをお聞かせ願いたいんですが、よろしいですか。

市長

そうですね。いろんな意味でですね、埼玉高速鉄道そのものがですね、皆様もご承知のとおり、2002 年サッカーワールドカップ、これに合わせて埼玉スタジアム 2002 が完成をして、そのアクセスをどうしても確保したいというようなことで、非常に急いでつくったのが埼玉高速鉄道です。ですから、沿線開発はまだ全然されておりましたし、いろんな意味で赤字体質といいますかですね、乗客数はそう見込める開通ではなかったわけなんです、ここに来ましてですね、イオンが開店したり、それから今駅のすぐそばに建っている 3 棟の大きなマンションですが、これらも 4 月かな、3 月に入居が始まって、4 月ぐらいから人が住み始めるということになるかと思っていますんで、かなり環境がですね、整ってきたのかなというふうに思っています。ぜひ杉野前社長がですね、ある意味では経営に大なたを振った後ですから、今度の社長はチームでやるんだということをおっしゃっておられるようなんで、その手腕にですね、ぜひ期待を申し上げたいというふうに思っています。

日本経済新聞

随分ですね、新社長様が会見の席上ではですね、余り「今から勉強しま

す」というような発言が多くて、それは一つ、杉野さんとはちょっと違うなというところもあったんですけども、知事のどちらかという縁故みたいな関係ですね、選ばれたようで、それに対してご不満ということはないんですけども、その点はこの人で大丈夫かというのは。

市長

そうですね。実は、けさ、あいさつに見えていただきまして、やはりきのうですか、取締役会の後の記者会見についても言及をされておられました。それで、今までの流れの中で、まだ実は1目レクチャー受けただけで、これからと、まさにこれからという段階なので、いろんなことを聞かれても確たる返答できないというのが今の僕の現状なんですよということをおっしゃっておられました。そういった意味では非常に正直な方だし、はったりだとかそういったものではなくて、着実な経営が期待できるのかなというふうに思っています。

いろんな意味で、人との縁というのはいろいろあるわけでありまして、それがどういう原因というかですね、どういうきっかけで就任されたにせよ、私どもとしては出資者としてですね、また補助金を補助をさせてもらっている自治体としてはですね、一目も早く経営が軌道に乗るということが第一義だというふうに考えています。

以下、略